

## IX. 資 料

平成 29 年 月 日

都道府県保健所、市区町村 御中

平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）研究  
地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発（H28-健危-一般-003）  
研究代表者：聖路加国際大学 麻原きよみ

## 質問紙調査（デルファイ調査）のお願い （調査対象者への依頼について）

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本研究班は、厚生労働省科学研究費補助金の助成を受けて、「地域における保健師の保健活動に関する指針（健康局長通知、平成 25 年 4 月）」の効果的な推進のために「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発」に取り組んでおります。

本研究は、ガイドライン作成の第一段階として、全国の自治体に勤務する保健師、保健師基礎教育機関の教員、社会福祉協議会の職員を対象に、「地域における保健師の保健活動に関する指針」で使われる用語を中心に、保健師および他職種間で共有できる用語の定義を行うことを目的としています。

つきましては、本調査に貴組織から 2 名の方に保健活動の実践領域の専門家として、以下の条件に該当する方（調査対象者）に研究協力をご依頼くださいますようお願い申し上げます。なお、研究にご協力いただくかどうかは、調査対象者の自由意思によります。

本研究の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 《ご依頼いただきたい調査対象者》

- ・ 保健師の責任者 または、管理職保健師（係長級以上） 1 名
- ・ 事務職の方 1 名

研究協力に際しては、機関および調査対象者が特定されることのないよう匿名化し、情報管理を厳重に行なうことをお約束いたします。研究成果を公表する場合も匿名性を確保いたします。

本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を受けております。承認番号（17-A010）

本研究に関してご質問や不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

### 【調査責任者・お問い合わせ先】

聖路加国際大学 地域看護学・公衆衛生看護学研究室  
麻原きよみ

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1

Tel/Fax : 03-5550-2271（直通）

e-mail: asahara@slcn.ac.jp

平成 29 年 月 日

保健師教育機関 御中

平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）研究  
地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発（H28-健危-一般-003）  
研究代表者：聖路加国際大学 麻原きよみ

## 質問紙調査（デルファイ調査）のお願い （調査対象者への依頼について）

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本研究は、厚生労働省科学研究費補助金の助成を受けて、「地域における保健師の保健活動に関する指針（健康局長通知、平成 25 年 4 月）」の効果的な推進のために「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発」に取り組んでおります。

本研究は、ガイドライン作成の第一段階として、全国の自治体に勤務する保健師、保健師基礎教育機関の教員、社会福祉協議会の職員を対象に、「地域における保健師の保健活動に関する指針」で使われる用語を中心に、保健師および他職種間で共有できる用語の定義を行うことを目的としています。

つきましては、本調査に貴機関から 1 名の方に保健活動の教育領域の専門家として、以下の条件に該当する方（調査対象者）に研究協力をご依頼くださいますようお願い申し上げます。なお、研究にご協力いただくかどうかは、調査対象者の自由意思によります。

本研究の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 《ご依頼いただきたい調査対象者》

#### 公衆衛生看護学教育の責任者 または、公衆衛生看護学の教育内容をよく把握されている教員の方

研究協力に際しては、機関および調査対象者が特定されることのないよう匿名化し、情報管理を厳重に行なうことをお約束いたします。研究成果を公表する場合も匿名性を確保いたします。

本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を受けております。承認番号（17-A010）

本研究に関してご質問や不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

#### 【調査責任者・お問い合わせ先】

聖路加国際大学 地域看護学・公衆衛生看護学研究室  
麻原きよみ

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1

Tel/Fax : 03-5550-2271（直通）

e-mail: asahara@slcn.ac.jp

平成 29 年 月 日

社会福祉協議会 御中

平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）研究  
地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発（H28-健危-一般-003）  
研究代表者：聖路加国際大学 麻原きよみ

## 質問紙調査（デルファイ調査）のお願い （調査対象者への依頼について）

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本研究班は、厚生労働省科学研究費補助金の助成を受けて、「地域における保健師の保健活動に関する指針（健康局長通知、平成 25 年 4 月）」の効果的な推進のために「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発」に取り組んでおります。

本研究は、ガイドライン作成の第一段階として、全国の自治体に勤務する保健師、保健師基礎教育機関の教員、社会福祉協議会の職員を対象に、「地域における保健師の保健活動に関する指針」で使われる用語を中心に、保健師および他職種間で共有できる用語の定義を行うことを目的としています。

つきましては、本調査に**貴機関から 1 名の方**に福祉活動の実践領域の専門家として、以下の条件に該当する方（調査対象者）に研究協力をご依頼くださいますようお願い申し上げます。なお、研究にご協力いただくかどうかは、調査対象者の自由意思によります。

本研究の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 《ご依頼いただきたい調査対象者》

#### 社会福祉協議会職員の方 1 名

研究協力に際しては、機関および調査対象者が特定されることのないよう匿名化し、情報管理を厳重に行なうことをお約束いたします。研究成果を公表する場合も匿名性を確保いたします。本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を受けております。承認番号（17-A010）

本研究に関してご質問や不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

#### 【調査責任者・お問い合わせ先】

聖路加国際大学 地域看護学・公衆衛生看護学研究室  
麻原きよみ

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1

Tel/Fax : 03-5550-2271（直通）

e-mail: asahara@slcn.ac.jp

平成 29 年 月 日

都道府県保健所、市区町村保健師 様、事務職 様

平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）研究  
地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発（H28-健危一般-003）  
研究代表者：聖路加国際大学 麻原きよみ

### 質問紙調査（デルファイ調査）のお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本研究は、厚生労働省科学研究費補助金の助成を受けて、「地域における保健師の保健活動に関する指針（健康局長通知、平成 25 年 4 月）」の効果的な推進のために「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発」に取り組んでおります。

本研究は、ガイドライン作成の第一段階として、全国の自治体に勤務する保健師、保健師基礎教育機関の教員、社会福祉協議会の職員を対象に、「地域における保健師の保健活動に関する指針」で使われる用語を中心に、保健師および他職種間で共有できる用語の定義を行うことを目的としています。

本研究の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

#### 《ご回答いただきたい方》

- ・保健師の責任者 または、管理職保健師（係長級以上） 1 名
- ・事務職の方 1 名

具体的に皆様をお願いしたいことは以下のことです。

- ・この調査は 2 回実施します。調査にご協力いただける場合は、同封の調査票にご記入いただき、記入漏れがないか確認した上で、ファックスまたは郵送にてご返送ください。
- ・2 回目の調査にご協力いただける場合は、調査票の最後のページにお名前とご住所をお書きください。この個人情報、調査票送付以外では使用しません。
- ・この研究の成果を広く活用していただくため、学会や学術雑誌などで発表させていただきます。

調査協力に際して以下のことをお約束いたします。

1. 調査協力は皆様の自由な意思によって決めていただくものです。回答された調査票の返送をもって、研究へのご協力の承諾とさせていただきます。ご回答いただいた内容は匿名化され、個人が識別できない状態で保管されます。そのため、調査票のご提出後は、情報の削除等を行うことはできません。
2. 調査協力を辞退された場合でも、皆様には一切不利益のないことを保証いたします。
3. 調査協力で得られた内容は、ガイドライン作成のためにのみ使用し、研究目的以外では一切使用いたしません。
4. 調査では、以下の内容についてご回答をお願いします。
  - ・地域における保健活動に関する用語の定義案とその適合の有無、使用頻度、重要度、ならびに定義案へのご意見
  - ・ご回答者の年代、性別、ご所属種別、資格、職位、経験年数
  - ・アンケートへのご意見
  - ・ご回答者のご所属機関名、お名前、ご住所（第 2 回調査にご協力いただける方のみ。いただいた個人情報は第 2 回調査の調査票を発送後、破棄いたします。）
5. 調査でご回答いただいた情報は、個人が特定されないデータとして質的・量的に分析します。
6. 調査で得られたデータは、本研究の研究者のみが利用し、その他の者・機関に提供することはございません。
7. お名前等の個人情報は、次回の調査票の発送のためだけに使わせていただきますので、調査内容の分析、その他個人が特定されるような情報として取り扱うことは決してございません。
8. 研究成果の公表に際しても、匿名性を確保いたします。
9. 研究計画書および研究方法についてご不明な点やご質問などがございましたら、以下の調査責任者まで電話またはメールでご連絡ください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で情報を開示いたします。

本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会での承認を受けて実施しております。承認番号（17-A010）

◇ 研究組織

〈研究代表者〉麻原きよみ（聖路加国際大学大学院看護学研究科・教授） 〈分担研究者〉佐伯和子（北海道大学大学院保健科学研究院・教授） 大森純子（東北大学大学院医学系研究科保健学専攻・教授） 永田智子（慶応義塾大学看護医療学部・教授）
--

◇ 調査票返送のお願い

返送期限：平成 29 年 月 日（ ）までに、以下にファックスいただくか、同封の返信用封筒にて投函してください。

Fax：〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

クリアファイルは謝礼ですので、ご自由にお使いください。

研究計画や研究方法に関する内容をお知りになりたい場合は、皆様の個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。調査に関するお問い合わせは下記の連絡先までお願いいたします。

【調査責任者・お問い合わせ先】

聖路加国際大学大学院看護学研究科 公衆衛生看護学 麻原きよみ  
〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1  
Tel/Fax：03-5550-2271（直通）  
e-mail: asahara@slcn.ac.jp

平成 29 年 月 日

保健師教育機関 公衆衛生看護学教育担当者 様

平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）研究  
地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発（H28-健危-一般-003）

研究代表者：聖路加国際大学 麻原きよみ

### 質問紙調査（デルファイ調査）のお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本研究班は、厚生労働省科学研究費補助金の助成を受けて、「地域における保健師の保健活動に関する指針（健康局長通知、平成 25 年 4 月）」の効果的な推進のために「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発」に取り組んでおります。

本研究は、ガイドライン作成の第一段階として、全国の自治体に勤務する保健師、保健師基礎教育機関の教員、社会福祉協議会の職員を対象に、「地域における保健師の保健活動に関する指針」で使われる用語を中心に、保健師および他職種間で共有できる用語の定義を行うことを目的としています。

本研究の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

#### 《ご回答いただきたい方》

#### 公衆衛生看護学教育の責任者 または、公衆衛生看護学の教育内容をよく把握されている教員の方

具体的に皆様をお願いしたいことは以下のことです。

- ・この調査は 2 回実施します。調査にご協力いただける場合は、同封の調査票にご記入いただき、記入漏れがないか確認した上で、ファックスまたは郵送にてご返送ください。
  - ・2 回目の調査にご協力いただける場合は、調査票の最後のページにお名前とご住所をお書きください。この個人情報、調査票送付以外では使用しません。
  - ・この研究の成果を広く活用していただくため、学会や学術雑誌などで発表させていただきます。
- 調査協力に際して以下のことをお約束いたします。
1. 調査協力は皆様の自由な意思によって決めていただくものです。回答された調査票の返送をもって、研究へのご協力の承諾とさせていただきます。ご回答いただいた内容は匿名化され、個人が識別できない状態で保管されます。そのため、調査票のご提出後は、情報の削除等を行うことはできません。
  2. 調査協力を辞退された場合でも、皆様には一切不利益のないことを保証いたします。
  3. 調査協力で得られた内容は、ガイドライン作成のためにのみ使用し、研究目的以外では一切使用いたしません。
  4. 調査では、以下の内容についてご回答をお願いします。
    - ・地域における保健活動に関する用語の定義案とその適合の有無、使用頻度、重要度、ならびに定義案へのご意見
    - ・ご回答者の年代、性別、ご所属種別、資格、職位、経験年数
    - ・アンケートへのご意見
    - ・ご回答者のご所属機関名、お名前、ご住所（第 2 回調査にご協力いただける方のみ。いただいた個人情報は第 2 回調査の調査票を発送後、破棄いたします。）
  5. 調査でご回答いただいた情報は、個人が特定されないデータとして質的・量的に分析します。
  6. 調査で得られたデータは、本研究の研究者のみが利用し、その他の者・機関に提供することはございません。
  7. お名前等の個人情報は、次回の調査票の発送のためだけに使わせていただきますので、調査内容の分析、その他個人が特定されるような情報として取り扱うことは決してございません。
  8. 研究成果の公表に際しても、匿名性を確保いたします。
  9. 研究計画書および研究方法についてご不明な点やご質問などがございましたら、以下の調査責任者まで電話またはメールでご連絡ください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で情報を開示いたします。

本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会での承認を受けて実施しております。承認番号（17-A010）

◇ 研究組織

〈研究代表者〉麻原きよみ（聖路加国際大学大学院看護学研究科・教授） 〈分担研究者〉佐伯和子（北海道大学大学院保健科学研究院・教授） 大森純子（東北大学大学院医学系研究科保健学専攻・教授） 永田智子（慶応義塾大学看護医療学部・教授）
--

◇ 調査票返送のお願い

返送期限：平成 29 年 月 日（ ）までに、以下にファックスいただくか、同封の返信用封筒にて投函してください。

Fax：〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

クリアファイルは謝礼ですので、ご自由にお使いください。

研究計画や研究方法に関する内容をお知りになりたい場合は、皆様の個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。調査に関するお問い合わせは下記の連絡先までお願いいたします。

【調査責任者・お問い合わせ先】

聖路加国際大学大学院看護学研究科 公衆衛生看護学 麻原きよみ

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1

Tel/Fax：03-5550-2271（直通）

e-mail: asahara@slcn.ac.jp

平成 29 年 月 日

社会福祉協議会職員 様

平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）研究  
地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発（H28-健危-一般-003）  
研究代表者：聖路加国際大学 麻原きよみ

### 質問紙調査（デルファイ調査）のお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本研究班は、厚生労働省科学研究費補助金の助成を受けて、「地域における保健師の保健活動に関する指針（健康局長通知、平成 25 年 4 月）」の効果的な推進のために「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発」に取り組んでおります。

本研究は、ガイドライン作成の第一段階として、全国の自治体に勤務する保健師、保健師基礎教育機関の教員、社会福祉協議会の職員を対象に、「地域における保健師の保健活動に関する指針」で使われる用語を中心に、保健師および他職種間で共有できる用語の定義を行うことを目的としています。

本研究の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

#### 《ご回答いただきたい方》

#### ・社会福祉協議会職員の方 1名

具体的に皆様をお願いしたいことは以下のことです。

- ・この調査は2回実施します。調査にご協力いただける場合は、同封の調査票にご記入いただき、記入漏れがないか確認した上で、ファックスまたは郵送にてご返送ください。
  - ・2回目の調査にご協力いただける場合は、調査票の最後のページにお名前とご住所をお書きください。この個人情報は、調査票送付以外では使用しません。
  - ・この研究の成果を広く活用していただくため、学会や学術雑誌などで発表させていただきます。
- 調査協力に際して以下のことをお約束いたします。

1. 調査協力は皆様の自由な意思によって決めていただくものです。回答された調査票の返送をもって、研究へのご協力の承諾とさせていただきます。ご回答いただいた内容は匿名化され、個人が識別できない状態で保管されます。そのため、調査票のご提出後は、情報の削除等を行うことはできません。
2. 調査協力を辞退された場合でも、皆様には一切不利益のないことを保証いたします。
3. 調査協力で得られた内容は、ガイドライン作成のためにのみ使用し、研究目的以外では一切使用いたしません。
4. 調査では、以下の内容についてご回答をお願いします。
  - ・地域における保健活動に関する用語の定義案とその適合の有無、使用頻度、重要度、ならびに定義案へのご意見
  - ・ご回答者の年代、性別、ご所属種別、資格、職位、経験年数
  - ・アンケートへのご意見
  - ・ご回答者のご所属機関名、お名前、ご住所（第2回調査にご協力いただける方のみ。いただいた個人情報は第2回調査の調査票を発送後、破棄いたします。）
5. 調査でご回答いただいた情報は、個人が特定されないデータとして質的・量的に分析します。
6. 調査で得られたデータは、本研究の研究者のみが利用し、その他の者・機関に提供することはございません。
7. お名前等の個人情報は、次回の調査票の発送のためだけに使わせていただきますので、調査内容の分析、その他個人が特定されるような情報として取り扱うことは決してございません。
8. 研究成果の公表に際しても、匿名性を確保いたします。
9. 研究計画書および研究方法についてご不明な点やご質問などがございましたら、以下の調査責任者まで電話またはメールでご連絡ください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で情報を開示いたします。

本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会での承認を受けて実施しております。承認番号（17-A010）

◇ 研究組織

〈研究代表者〉麻原きよみ（聖路加国際大学大学院看護学研究科・教授） 〈分担研究者〉佐伯和子（北海道大学大学院保健科学研究院・教授） 大森純子（東北大学大学院医学系研究科保健学専攻・教授） 永田智子（慶応義塾大学看護医療学部・教授）
--

◇ 調査票返送のお願い

返送期限：平成 29 年 月 日（ ）までに、以下にファックスいただくか、同封の返信用封筒にて投函してください。

Fax：〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

クリアファイルは謝礼ですので、ご自由にお使いください。

研究計画や研究方法に関する内容をお知りになりたい場合は、皆様の個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。調査に関するお問い合わせは下記の連絡先までお願いいたします。

【調査責任者・お問い合わせ先】

聖路加国際大学大学院看護学研究科 公衆衛生看護学 麻原きよみ  
〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1  
Tel/Fax：03-5550-2271（直通）  
e-mail: asahara@slcn.ac.jp

平成29年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）研究  
地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発に関する研究

## 「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発」におけるデルファイ調査

### 問1の回答方法

地域における保健活動に関する主要用語について、以下の①～④の設問形式でお答えください。

なお、「地域における保健師の保健活動に関する指針」(平成25年4月厚生労働省局長通知)に定義のある用語については、指針で出されている定義を基に定義案を作成しました。

#### ①適合の有無

あなたは、下記の設問に挙げた「用語の定義案」が、地域における保健活動で用いる定義として適していると思いますか？  
それぞれの用語の定義案について、「同意する」、「どちらかという同意する」、「どちらかという同意しない」、「同意しない」から1つ選んでお答えください。

#### ②使用頻度

あなたは、下記の設問に挙げた「用語」を日常活動においてどの位使うか、その頻度を応えてください。  
それぞれの用語について、「よく使う」「ときどき使う」「あまり使わない」「まったく使わない」を選んでお答えください。

#### ③重要度

あなたは、下記の設問に挙げた「用語」について、どの程度重要だと考えますか？  
4段階のうち、当てはまる重要度をお答えください。

#### ④ご意見

あなたが不適合とした理由や意見、代替案をお書きください。また、項目の表現等についてお考えをお聞かせください。

### 問1の記入例

用語の定義案に 同意するかどうかを 1～4からひとつ選択

用語の日常活動に おける使用頻度を 1～4からひとつ選択

用語の重要度を 1～4からひとつ選択

あてはまる数字に○をつける

- 用語 -	- 定義案 -	①適合の有無				②使用頻度				③重要度			
		同意する	同意する どちらかという	同意しない どちらかという	同意しない	よく使う	ときどき使う	あまり使わない	まったく使わない	非常に重要	重要	でない	それほど重要でない
1 地域	地理的境界をもつ空間の範囲である。そこで生活あるいは活動する人々は、共通の価値観や習慣をもち、社会基盤や社会資源を共有する。	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
		④ご意見											

それぞれの主要用語について自由にコメント  
例) 不適合とした理由や意見、代替案、項目の表現など

問1. 地域における保健師の保健活動に関する用語について、お答えください。

	- 用語 -	- 定義案 -	①適合の有無				②使用頻度				③重要度			
			同意する	どちらかという	どちらかという	同意しない	よく使う	ときどき使う	あまり使わない	まったく使わない	非常に重要	重要	でない	重要でない
1	地域	地理的境界をもつ空間の範囲である。そこで生活あるいは活動する人々は、共通の価値観や習慣をもち、社会基盤や社会資源を共有する。	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
			④ご意見											
2	地区	地域を構成する空間の範囲であり、保健活動を展開する単位。地方自治体が区分した保健所管轄区、中学校区、小学校区などがある。	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
			④ご意見											
3	政策	自治体の特定の行政課題に対応するための基本的な方針を表明した行政活動の大きなまとまりであり、政策-施策-事業の構造をもつ。	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
			④ご意見											
4	施策・施策化	施策とは、行政課題を解決するために必要となる具体的な取り組み(事業)の関連する分野ごとのまとまりである。施策化とは政策を対策として実施する過程である。	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
			④ご意見											
5	事業・事業化	事業とは、行政課題を解決するためにとられる具体的な活動の内容を定めたものである。事業化とは、行政課題を解決するための具体的な方策として事業を計画し実施する過程である。	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
			④ご意見											
6	保健師人材育成	保健活動を適切に行うために、主体的に自己啓発に努め、最新の保健、医療、福祉、介護等に関する知識及び技術を習得するとともに、連携、調整や行政運営に関する能力及び保健、医療、福祉及び介護の人材育成に関する能力を習得した保健師を育てること。	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
			④ご意見											
7	地域診断/地区診断/地域アセスメント/コミュニティアセスメント	地区活動や保健サービス等の提供、調査研究、統計情報等に基づき、住民の健康状態や生活環境の実態を把握し、健康課題を構成する要素を分析して、地域において取り組むべき健康課題と取り組む方法を明らかにすること。	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
			④ご意見											

		①適合の有無				②使用頻度				③重要度			
		同意する	どちらかという	どちらかという	同意しない	よく使う	ときどき使う	あまり使わない	まったく使わない	非常に重要	重要	でない	重要でない
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
8	- 用語 - PDCAサイクル	- 定義案 - 地域診断に基づいて活動の目標と計画を設定するPlan、計画を実施しその効果を測定するDo、測定したデータを分析して活動を評価するCheck、評価結果に基づいて計画の見直しや改善を行うActの4段階で構成される循環過程であり、業務を継続的に改善していく業務管理の手法のこと。											
9	地域のケアシステム	健康問題を有する住民が、その地域で生活を継続するために必要な保健、医療、福祉、介護等のサービスのしくみ。											
10	保健師による地域のケアシステムの構築	地域横断的に地域のケアシステムの総合的な調整を行い、また不足しているサービスの開発を行うこと。											
11	健康課題	人々のよりよい健康や生活の質を目指す上で取り組むべき課題。それは人々が実現したい健康や生活、または障害されている健康について取り組むべき課題を含む。											
12	地区担当制	保健師が一定の地区を受け持ち、分野横断的にその地区で生活するすべての人々の健康増進や生活の質向上に責任をもって活動をする体制。											
13	業務担当制	母子・成人・高齢者・精神・感染症等の分野の業務ごとに担当を決めて、業務遂行に責任をもって保健活動を行う体制。											
14	地区活動	訪問指導、健康相談、健康教育及び地区組織等の育成等を通じて地域に出向き、住民が主体的かつ継続的に健康的な生活を送れるよう地域住民と協働して行う活動。											
15	保健サービス	健康の保持・増進、疾病の予防のために、人々の顕在的・潜在的ニーズに応じて提供される事柄・行為のこと。											

- 用語 -

- 定義案 -

		①適合の有無				②使用頻度				③重要度			
		同意する	どちらかという と同意する	どちらかという と同意しない	どちらかという と同意しない	よく使う	ときどき使う	あまり使わない	まったく使わない	非常に重要	重要	でない それほど重要	重要でない
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
16	保健活動 保健サービスを提供するために実施する活動。	④ご意見											
17	保健事業 国や自治体が掲げる健康に関する政策を実現するために、企画・運営される具体的な方策。	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
18	統括的な役割を担う保健師 保健師の保健活動の総合的調整等を担う部署に配置され、地域の健康課題の解決に向けて、地域特性に合わせた様々な活動等を効果的に推進するために統括的な役割を担う保健師。保健師の保健活動を組織横断的に総合調整し、保健師の計画的な人材配置や人材育成における指導及び調整などを行う。	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
19	ソーシャルキャピタル 「信頼」、「規範」、「人的ネットワーク」などで構成される社会的仕組みの特徴のこと。人々間の協調的行動を促し、コミュニティやグループ等に集団全体の調和や協調性、結束力をもたらす。	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
20	ソーシャルキャピタルの醸成 人々間の協調的行動を促し、コミュニティやグループ等に集団全体の調和や協調性、結束力をもたらす社会的仕組みの特徴を徐々に育むこと。	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
21	地域特性 行政圏の一定地域を特徴づける自然条件、社会条件、住民の意識行動。	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
22	地域づくり／まちづくり 地域に生活している人々が自ら、地域の課題や問題を認識し、表明し、解決し、より健康で人間としての豊かさを実感できる生活を創造するプロセス。協働により「人づくり」「仕組みづくり」「ルールづくり」を行うことで可能になる。	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4

【追加項目】問1の1~22で挙げられた用語以外に、「必要だと思われる用語とその定義案」があれば、その他の欄に記入してください。使用頻度・重要度も記入してください。

		②使用頻度				③重要度			
		よく使う	ときどき使う	あまり使わない	まったく使わない	非常に重要	重要	でない	それほど重要でない
		1	2	3	4	1	2	3	4
23	- その他の用語 -	- その他の定義案 -							
		④ご意見							
24		1	2	3	4	1	2	3	4
		④ご意見							
25		1	2	3	4	1	2	3	4
		④ご意見							
26		1	2	3	4	1	2	3	4
		④ご意見							
27		1	2	3	4	1	2	3	4
		④ご意見							
28		1	2	3	4	1	2	3	4
		④ご意見							

問2. アンケート回答者についてお答えください。

1.年齢

1. 20代      2. 30代      3. 40代      4. 50代      5. 60代      6. 70代以上

2.性別

1. 女性      2. 男性

3.所属

1. 行政（自治体）      2. 教育機関      3. 社会福祉協議会

4.現在の職種

1. 保健師      2. 教員      3. 事務職      4. その他

具体的に

5.職位

6.経験年数

①行政の保健師の方:保健師としての経験年数

年

②行政の事務職の方:自治体の事務職としての経験年数

年

③教育機関の方:教育経験年数

年

④社会福祉協議会の方:社会福祉協議会の職員としての経験年数

年

問3. このアンケートについて、ご意見がありましたらお書きください。

ご意見等

右ページの、「第2回調査予定とご記名のお願い」にもご回答ください。



## アンケートの返送方法

今回の調査のご回答は、以下の期日までにファックス番号にご返信くださるか、返信用封筒に入れてご投函をお願いいたします。

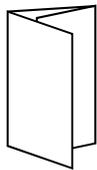
※本調査のデータ入力、(株)アクロスに依頼していますので、返信用の宛先はそちらになっておりますことをご了承ください。

### 返送締切日

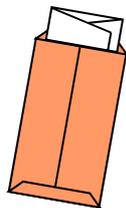
誠にお手数ですが 2017年7月5日(水) までにご返送ください。



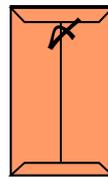
## 郵送回答の場合の返送方法



調査票を3つ折り  
してください



返信用封筒に  
入れてください



テープを剥がして  
封緘します



お近くのポストに  
ご投函ください

※切手貼付は不要です



## FAX回答の場合の返送方法

調査票を図のように、用紙の真中の点線で切り離します。

切り取った用紙を、FAX複合機等の「オートフィーダー」に入れて「**画面設定**」にします。

下記の番号にFAX送信をお願いいたします。



FAX番号

03-5823-4323

番号はお間違いのないようご注意ください。  
※ **必ず「画面設定」**にしてください。

## 本調査のお問い合わせ先

本調査に関するお問い合わせは、下記までどうぞご遠慮なく連絡いただければ幸いです。  
尚、調査票は返送できませんので、ご了承ください。

聖路加国際大学大学院 看護学研究科 研究代表者 麻原きよみ

〒104-0045 東京都中央区明石町10-1

TEL:03-3550-2271 E-Mail:asahara@slcn.ac.jp

ご多忙の折、大変恐縮ですが、是非、2回目の調査にもご協力いただけますよう、  
よろしくお願い申し上げます。

地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発  
—デルファイ調査—へのお礼

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。先日は、ご多忙のところ、調査にご協力いただき誠にありがとうございました。皆様からの貴重なご回答を生かせるよう、鋭意分析を進めております。

なお、調査票がまだお手元にございましたら、お手数でもご記入の上、〇月〇日までに、ご返送いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

このはがきは全ての方にお送りしています。既にご返送いただいている場合はご容赦ください。

2017年6月〇日

聖路加国際大学大学院看護学研究科

麻原きよみ

Tel/Fax : 03-5550-2271 (直通)

e-mail: [asahara@slcn.ac.jp](mailto:asahara@slcn.ac.jp)

平成 29 年 月 日

第 2 回目調査対象者 様

平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）研究  
地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発（H28-健危-一般-003）  
研究代表者：聖路加国際大学 麻原きよみ

## 質問紙調査（デルファイ調査）2 回目のおお願い

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

先日は、お忙しい中、第 1 回調査へのご協力いただき、現実を踏まえた数多くの貴重なご意見を誠にありがとうございました。皆様からいただきました第 1 回調査結果をもとに、用語の定義案を再検討し、修正いたしました。前回の調査依頼でもご案内させていただきましたように、これらの定義をより妥当なものとするため、引き続き、第 2 回調査への協力をお願いいたします。今後の地域における保健福祉活動の効果的な推進のために、皆様の貴重なご意見をお寄せ下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

具体的に皆様にお願ひしたいことは以下のことです。

- ・同封の調査票にご記入いただき、記入漏れがないか確認した上で、ファックスまたは郵送にてご返送ください。
- ・この研究の成果を広く活用していただくため、学会や学術雑誌などで発表させていただきます。調査協力を際して以下のことをお約束いたします。
  1. 調査協力は皆様の自由な意思によって決めていただくものです。回答された調査票の返送をもって、研究へのご協力の承諾とさせていただきます。ご回答いただいた内容は匿名化され、個人が識別できない状態で保管されます。そのため、調査票のご提出後は、情報の削除等を行うことはできません。
  2. 調査協力を辞退された場合でも、皆様には一切不利益のないことを保証いたします。
  3. 調査協力で得られた内容は、ガイドライン作成のためにのみ使用し、研究目的以外では一切使用いたしません。
  4. 調査では、以下の内容についてご回答をお願いします。
    - ・地域における保健活動に関する用語の定義案とその適合の有無、ならびに代替案・ご意見
    - ・アンケートへのご意見
  5. 調査でご回答いただいた情報は、個人が特定されないデータとして質的・量的に分析します。
  6. 調査で得られたデータは、本研究の研究者のみが利用し、その他の者・機関に提供することはありません。7. お名前等の個人情報、調査票の発送のためだけに使わせていただきますので、調査内容の分析、その他個人が特定されるような情報として取り扱うことは決してございません。
  8. 研究成果の公表に際しても、匿名性を確保いたします。
  9. 研究計画書び研究方法についてご不明な点やご質問などがございましたら、以下の調査責任者まで電話またはメールでご連絡ください。

本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会での承認を受けて実施しております。

承認番号 (17-A010)

◇ 研究組織

〈研究代表者〉 麻原きよみ (聖路加国際大学大学院看護学研究科・教授)
〈分担研究者〉 佐伯和子 (北海道大学大学院保健科学研究所・教授)
大森純子 (東北大学大学院医学系研究科保健学専攻・教授)
永田智子 (慶応義塾大学看護医療学部・教授)

◇ 調査票返送のお願い

返送期限：平成 29 年 月 日 ( ) までに、以下にファックスいただくか、同封の返信用封筒にて投函してください。

Fax : 〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

クリアファイルは謝礼ですので、ご自由にお使いください。

なお、調査に関するお問い合わせは下記の連絡先までお願いいたします。

【調査責任者・お問い合わせ先】

聖路加国際大学大学院看護学研究科 公衆衛生看護学 麻原きよみ

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1

Tel/Fax : 03-5550-2271 (直通)

e-mail: asahara@slcn.ac.jp

## 第2回調査 ご協力をお願い

### 「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発に関する研究」

平成29年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)研究

地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発に関する研究(デルファイ調査)の第1回調査へのご協力、誠にありがとうございました。

皆様からいただきました第1回調査結果をもとに、定義について再検討し、修正いたしました。

検討・修正の要点と2回目調査の概要につきましては、以下の通りです。引き続き、2回目の調査もどうぞよろしくお願い申し上げます。

研究者代表者 聖路加国際大学大学院 看護学研究科 教授 麻原きよみ

#### 1. 1回目の調査の結果と検討・修正

1回目の調査では、用語の定義について適合度の程度を調査させていただき、また多くのご意見をいただき誠にありがとうございました。その結果、230名28.6%の方にご返送いただきました。内容の適合度は、「適合の有無」に対して「同意する」と「どちらかという同意する」とご回答いただいた場合、「適合している」とさせていただきました。この結果、全ての項目について80%以上の方から適合しているという合意を得て、概ね定義案は妥当と考えられました。各定義の修正点については、3ページ以降の表内にある「修正点」の欄をご覧ください。複数の解釈があり、一つの定義に集約できない用語に関しては「修正点」内の「注」に説明を加えました。「必要だと思われる用語とその定義案」に関しても多くのご提案をいただきありがとうございました。今後の課題として検討いたします。

#### 2. 2回目の調査について

以下の地域における保健活動に関する用語について、以下の2つの設問形式でお答えください。

##### 《設問内容》

##### 1) 適合の有無

- 用語と定義案とが適合しているかどうかを判断していただき、「1. 同意する」「2. どちらかという同意する」「3. どちらかという同意しない」「4. 同意しない」のいずれかに○を付けて下さい。
- 適合していないとお考えの場合は、「2) 代替案・ご意見」の欄に、どのような代替案がふさわしいかをお書き下さい。

##### 2) 代替案、ご意見

- ご意見がございましたら、ご自由にお書き下さい。

# アンケートの記入例

用語 (修正版)	第1回調査における定義案	修正した定義案	修正点	1) 適合の有無					2) 代替案・ご意見  ※ご自由にお書きください。
				同意する	同意する どちらかという	同意しない どちらかという	同意しない		
地域	地理的境界をもつ空間の範囲である。そこで生活あるいは活動する人々は、共通の価値観や習慣をもち、社会基盤や社会資源を共有する。	地理的境界をもつ空間の範囲である。そこで生活あるいは活動する人々は、共通する文化をもち、社会基盤や社会資源を共有する。	「価値観や習慣」を文化とし、「共通する文化」とした。	①	2	3	4		
地区	地域を構成する空間の範囲であり、保健活動を展開する単位。地方自治体が区分した保健所管轄区、中学校区、小学校区などがある。	地域を構成する空間の範囲であり、人々の日常生活の基盤となる区域。	人々の身近な区域である地区の特徴を加筆し、特定の例は示さないこととした。	1	2	③	4		



1) 適合の有無

該当する数字に○を付けてください。



2) 代替案・ご意見

ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

用語 (修正版)	第1回調査における定義案	修正した定義案	修正点	1)適合の有無				2)代替案・ご意見  ※ご自由にお書きください。
				同意する	同意する どちらかという と	同意しない どちらかという と	同意しない	
1 地域	地理的境界をもつ空間の範囲である。そこで生活あるいは活動する人々は、共通の価値観や習慣をもち、社会基盤や社会資源を共有する。	地理的境界をもつ空間の範囲である。そこで生活あるいは活動する人々は、共通する文化をもち、社会基盤や社会資源を共有する。	「価値観や習慣」を文化とし、「共通する文化」とした。	1	2	3	4	
2 地区	地域を構成する空間の範囲であり、保健活動を展開する単位。地方自治体が区分した保健所管轄区、中学校区、小学校区などがある。	地域を構成する空間の範囲であり、人々の日常生活の基盤となる区域。	人々の身近な区域である地区の特徴を加筆し、特定の例は示さないこととした。	1	2	3	4	
3 政策	自治体の特定の行政課題に対応するための基本的な方針を表明した行政活動の大きなまとまりであり、政策-施策-事業の構造をもつ。	政府や自治体の取り組むべき課題と解決のための基本方針を表明したもの。政策-施策-事業の構造をもつ。	自治体のみとせず「政府」を加えた。また表現を簡潔にわかりやすくした。	1	2	3	4	
4 施策	(施策・施策化) 施策とは、行政課題を解決するために必要となる具体的取り組み(事業)の関連する分野ごとのまとまりである。施策化とは政策を対策として実施する過程である。	政策課題を解決するための方針や対策を示したもの。  注)施策と事業は、同義語として使われることがある。	「施策」と「施策化」を分けた。「政策」との整合性をとりながら、簡潔でわかりやすい表現とした。施策と事業は同義語として使われることがあるため、注)として記載した。	1	2	3	4	
5 施策化		施策化： 政策課題を解決するための計画、実施、評価の過程。  注)施策化と事業化は、同義語として使われることがある。	「施策」と「施策化」を分けた。政策課題を解決するための過程を構成する段階について記載した。施策化と事業化は同義語として使われることがあるため、注)として記載した。	1	2	3	4	

用語 (修正版)	第1回調査における定義案	修正した定義案	修正点	1)適合の有無				2)代替案・ご意見  ※ご自由にお書きください。
				同意する	同意する どちらかという と	同意しない どちらかという と	同意しない	
6 事業	(事業・事業化) 事業とは、行政課題を解決するためにとられる具体的な活動の内容を定めたものである。事業化とは、行政課題を解決するための具体的な方策として事業を計画し実施する過程である。	施策を実現するための具体的な活動。  注)施策と事業は、同義語として使われることがある。	「事業」と「事業化」を分けた。「施策」との整合性をとりながら、簡潔でわかりやすい表現とした。「定めたもの」は「実施要綱」などを想定したものではないため削除した。施策と事業は同義語として使われることがあるため、注)として記載した。	1	2	3	4	
7 事業化		施策を実現するための具体的な活動を計画、実施、評価する過程。  注)施策化と事業化は、同義語として使われることがある。	「事業」と「事業化」を分けた。施策を実現する過程を構成する段階について記載した。施策化と事業化は同義語として使われることがあるため、注)として記載した。	1	2	3	4	
8 保健師人材育成	保健活動を適切に行うために、主体的に自己啓発に努め、最新の保健、医療、福祉、介護等に関する知識及び技術を習得するとともに、連携、調整や行政運営に関する能力及び保健、医療、福祉及び介護の人材育成に関する能力を習得した保健師を育てること。	保健活動の質の保証のために専門職として必要な能力を備えた保健師を、基礎教育から継続的かつ組織的に育てること。	育てることは知識と技術だけではなく、保健活動の質の保証が重要であること、「専門職」という言葉に責任感も含まれると考え「専門職として必要な能力を備えた保健師」を「育てる」と明瞭にした。また、育成＝育て上げるという意味からも継続的かつ組織的とした。	1	2	3	4	
9 地域診断	(地域診断/地区診断/地域アセスメント/コミュニティアセスメント) 地区活動や保健サービス等の提供、調査研究、統計情報等に基づき、住民の健康状態や生活環境の実態を把握し、健康課題を構成する要素を分析して、地域において取り組むべき健康課題と取り組む方法を明らかにすること。	保健活動、地区踏査、調査研究、統計情報等に基づいて、住民の健康状態や生活実態を把握して、地域において取り組むべき課題、その構成要素と要因を明らかにすること。  注)課題への対応を検討することを含む場合がある	定義する用語は「地域診断」のみとした。「地区活動」や「保健サービスの提供」は「保健活動」とした。経験や実感として得られた情報を活用することを明示するため「踏査」を追加した。また、「健康課題」は「課題」に修正した。「取り組む方法を明らかにする」は定義から除き、注)として、「課題への対応を検討することを含む場合がある」とした。	1	2	3	4	

10	PDCAサイクル	保健活動のPDCAサイクルは、地域診断に基づいて活動の目標と計画を設定するPlan、計画を実施しその効果を測定するDo、測定したデータを分析して活動を評価するCheck、評価結果に基づいて計画の見直しや改善を行なうActの4段階で構成される循環過程である。業務を継続的に改善していく業務管理の手法のこと。	活動の目標と計画を設定するPlan、計画を実施するDo、活動を評価するCheck、評価結果に基づいて計画の見直しや改善を行うActの4段階で構成される循環過程。	保健活動におけるPDCAサイクルは、必ずしも地域診断に基づくものではないため、「地域診断に基づいて」を削除した。その他、意味が重なる箇所をわかりやすい表現にした。	1	2	3	4	
11	地域ケアシステム	(地域のケアシステム) 健康問題を有する住民が、その地域で生活を継続するために必要な保健、医療、福祉、介護等のサービスのしくみ。	住民がその地域で生活を継続するために必要な、様々なサービスを一体的、継続的に提供する仕組みとその機能。保健、医療、福祉等のフォーマルなサービスだけでなく、住民組織などによるインフォーマルなサービスも含む。	「地域のケアシステム」を、一般的でより簡潔な表現である「地域ケアシステム」に修正した。「健康課題を有する住民」と限定せずに、すべての住民が対象となる表現に修正した。また、サービス提供の構造的な仕組みだけでなく、その機能を含めた定義とし、インフォーマルなサービスが含まれることを明記した。	1	2	3	4	
12	地域ケアシステムの構築	(保健師による地域のケアシステムの構築) 地域横断的に地域のケアシステムの総合的な調整を行い、また不足しているサービスの開発を行うこと。	関係機関や地域住民と協働してサービスや社会資源の調整および開発を行い、地域ケアシステムの仕組みを作ったり、その仕組みを効果的に機能させたりすること。	地域ケアシステムの構築には多職種や住民の協働が不可欠であることを明確にし、用語から「保健師による」を削除した。意味の不明瞭な「地域横断的」は削除し、「総合的な調整」は具体的に「サービスや社会資源の調整および開発」と表現した。また「地域ケアシステム」を効果的に機能させていくことを定義に含めた。	1	2	3	4	
13	健康課題	人々のよりよい健康や生活の質を目指す上で取り組むべき課題。それは人々が実現したい健康や生活、または障害されている健康について取り組むべき課題を含む。	健康や生活の質の向上を目指す上で取り組むべき事柄。顕在的あるいは潜在的なことも含む。	「取り組むべき課題」は「取り組むべき事柄」に修正した。「障害されている健康」という表現もわかりにくく、ウェルネスも含んで取り組むべきことに焦点を当て、「健康や生活の向上を目指す上で」と簡潔に表現した。「潜在していること」にも着目することが重要であると考え、明記した。	1	2	3	4	

用語 (修正版)	第1回調査における定義案	修正した定義案	修正点	1)適合の有無					2)代替案・ご意見  ※ご自由にお書きください。
				同意する	同意する どちらかという と	同意しない どちらかという と	同意しない	同意しない	
14 地区担当制	保健師が一定の地区を受け持ち、分野横断的にその地区で生活するすべての人々の健康増進や生活の質向上に責任をもって活動をする体制。	一定の地区に責任をもち、その地区で生活するすべての人々の健康や生活の質の向上のために活動を行う体制。	「分野横断的」という言葉が分かりにくいため削除した。「健康増進」を「健康」、「生活の質向上」を「生活の質の向上」に変更し、わかりやすい表現にした。	1	2	3	4		
15 業務担当制	母子・成人・高齢者・精神・感染症等の分野の業務ごとに担当を決めて、業務遂行に責任をもって保健活動を行う体制。	母子・成人・高齢者・精神・感染症等の分野ごとに責任をもち、その分野の対象とする人々の健康や生活の質の向上のために活動を行う体制。	「地区担当制」の定義と整合性を取るため、「分野の業務ごとに担当を決めて」を「分野ごとに責任をもち」に修正した。	1	2	3	4		
16 保健師による地区活動	(地区活動) 訪問指導、健康相談、健康教育及び地区組織等の育成等を通じて地域に出向き、住民が主体的かつ継続的に健康的な生活を送れるよう地域住民と協働して行う活動。	訪問指導、健康相談、健康教育及び地区組織の育成等を通じて地区を把握し、住民が主体的かつ継続的に健康的な生活を送れるよう地域住民や関係機関等と協働して行う保健活動。	用語を「地区活動」から「保健師による地区活動」に変更した。「地域に出向き」を「地域を把握し」に変更した。「協働して行う活動」を「協働して行う保健活動」とした。協働する対象に「関係機関」を追加した。	1	2	3	4		
17 保健サービス	健康の保持・増進、疾病の予防のために、人々の顕在的・潜在的ニーズに応じて提供される事柄・行為のこと。	人々の健康や生活の質の向上のために、組織的に行われる知識・技術の提供。  注)保健活動と同義語として使われることがある	「健康の保持・増進、疾病の予防のために」を「人々の健康と生活の質の向上のために」に変更した。サービスは個人で行うものではないため、「組織的に行われる」を加えた。提供される事柄・行為について具体的に記載した。保健サービスと保健活動は同義語として使われることがあるため、注)として記載した。	1	2	3	4		
18 保健活動	保健サービスを提供するために実施する活動。	人々の健康や生活の質の向上のために行われる諸活動。保健サービス、保健事業を含む包括的な用語。	目的を明記し、保健サービスと保健活動の実際的な活用を考慮し、定義を修正した。	1	2	3	4		

19	保健事業	国や自治体が掲げる健康に関する政策を実現するために、企画・運営される具体的な方策。	施策を実現するために、計画に基づいて行われる具体的な保健活動。	「事業」「保健活動」との整合性をとって修正した。	1	2	3	4	
20	統括的な役割を担う保健師	保健師の保健活動の総合的調整等を担う部署に配置され、地域の健康課題の解決に向けて、地域特性に合わせた様々な活動等を効果的に推進するために統括的な役割を担う保健師。保健師の保健活動を組織横断的に総合調整し、保健師の計画的な人材配置や人材育成における指導及び調整を行うなど。	地域特性に合わせた様々な活動を効果的に推進するために、保健師による保健活動の組織横断的な調整や、計画的な保健師の人材確保・人材育成における指導・調整を担う保健師。 注)保健師の保健活動の総合的調整等を担う部署に配置することが望ましいとされる。	表現の重複を削除し、より簡潔でわかりやすい表現とした。統括的な役割を担う保健師が配置される部署については、注)に記載した。	1	2	3	4	
21	ソーシャルキャピタル	「信頼」、「規範」、「人的ネットワーク」などで構成される社会的仕組みの特徴のこと。人々間の協調的行動を促し、コミュニティやグループ等に集団全体の調和や協調性、結束力をもたらす。	人々のつながりや関係性を資源とする際の総称。集団としての結束や協調性もたらし、健康と生活の質を高める基盤となるとされる。	わかりづらいという意見が多く見られた「社会的仕組みの特徴」を削除し、地域の健康との関連、保健活動での活用を想定した表現に変更した。 なお、「ソーシャルキャピタルの醸成」については、「の醸成」まで定義する必要がないという意見も出ており、ソーシャルキャピタルのみ定義し、本用語は削除することとした。	1	2	3	4	
22	地域特性	行政圏の一定地域を特徴づける自然条件、社会条件、住民の意識行動。	一定の境界を有する生活圏を特徴づける自然条件、社会条件、および、そこで生活する人々が共有する文化に基づいた意識や行動。	地域を「1地域」の定義に基づいた説明となるよう「一定の境界を有する生活圏」とした。また、自然条件、社会条件だけではなく、価値観や習慣といった文化を定義に含めた。	1	2	3	4	
23	まちづくり／地域づくり	地域に生活している人々が自ら、地域の課題や問題を認識し、表明し、解決し、より健康で人間としての豊かさを実感できる生活を創造するプロセス。協働により「人づくり」「仕組みづくり」「ルールづくり」を行うことで可能になる。	地域の人々の暮らしや健康を守り、人々が望む生活を目指して行われる諸活動であり、そのプロセス。地域に生活する人々、行政、民間団体等が協働すること、地域への愛着や関心、強みを育むことを通して推進される。 注)「人づくり」「仕組みづくり」「ルールづくり」が重要とされる。	一般的な用語として活用できるよう、より広義の定義とした。まちづくり・地域づくりに重要とされる「人づくり」「仕組みづくり」「ルールづくり」は、注)として記載した。	1	2	3	4	

**F 1. 所属**

- 1. 行政（自治体）    2. 教育機関    3. 社会福祉協議会

**F 2. 現在の職種**

- 1. 保健師            2. 教員            3. 事務職            4. その他

具体的に

**F 3. 経験年数**

- ① 行政の保健師の方:保健師としての経験年数  年
- ② 行政の事務職の方:自治体の事務職としての経験年数  年
- ③ 教育機関の方:教育経験年数  年
- ④ 社会福祉協議会の方:社会福祉協議会の職員としての経験年数  年

本調査につきまして、ご意見などございましたら、ご記入下さい。

2回にわたる調査へのご協力、本当にありがとうございました。

お忙しいところ恐縮ではございますが、2回目の調査票(今回の調査)のご回答は、以下の期日までに返信用封筒に入れてご投函をお願い致します。

<b>返送期限</b>	<b>9月15日（金曜日）まで</b>
-------------	---------------------

※本調査のデータ入力は、(株)アクロスに依頼していますので、返信用の宛先はそちらになっておりますことをご了承ください。

——— この調査に関するご質問やお問い合わせがございましたら、下記までお願い致します。 ———

担 当：聖路加国際大学大学院 看護学研究科 研究代表者 麻原きよみ

連絡先： 〒104-0044 東京都中央区明石町 1 0 - 1

TEL：03-5550-2271 (直通)    E-mail：asahara@slcn.ac.jp

地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発  
—デルファイ 2 回目調査—のお礼

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。先日は、ご多忙のところ、デルファイ第 2 回目調査にご協力いただき誠にありがとうございました。皆様からの貴重なご回答を生かせるよう、鋭意分析を進めております。

なお、調査票がまだお手元にございましたら、お手数でもご記入の上、○月○日までに、ご返送いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

このはがきは全ての方にお送りしています。既にご返送いただいている場合はご容赦ください。

2017 年 8 月○日

聖路加国際大学大学院看護学研究科

麻原きよみ

Tel/Fax : 03-5550-2271 (直通)

e-mail: [asahara@slcn.ac.jp](mailto:asahara@slcn.ac.jp)

「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発-地区活動実態調査-」

調査へのご協力をお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本研究班は、厚生労働省科学研究費補助金の助成（H28-健危-一般-003）を受けて、「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発」に取り組んでおります。本調査は、ガイドライン作成の第一段階として、全国の自治体に勤務して対人保健サービスに従事している保健師と保健師責任者を対象に、保健師による地区活動の実態、および地区活動の関連要因を明らかにすることを目的としています。つきましては、貴自治体において対人保健サービスに従事している常勤保健師の方（調査対象者）全員と保健師責任者に調査をご依頼したいと存じます。調査説明文書と調査票を保健師管理者様宛てに人数分お送り致します。下部の [ ] 内に対象者の人数と送付先をご記入の上、返信用封筒を用いてご郵送ください。開封は委託会社が行います。いただいた情報は、調査票の送付のみの業務目的で使用します。なお、調査にご協力いただくかどうかは、調査対象者の自由意思によります。

本調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。本調査は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を受けております（承認番号 17-A094）。

平成 30 年 1 月 ○日

【調査責任者・お問い合わせ先】

研究代表者：聖路加国際大学大学院看護学研究科公衆衛生看護学  
麻原きよみ

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1

Tel/Fax：03-5550-2271（直通）

e-mail：asahara@slcn.ac.jp

=====返信連絡用=====

貴自治体において対人保健サービスに従事している常勤保健師の方全員に本調査の説明文書と調査票をお送りします。全常勤保健師の人数と送付先をお書きください。なお、調査への協力は個人の自由意思に基づいておりますので、回答するか否かは、調査票配布後に各自でご判断いただいております。

◆ 対人保健サービスに従事している全常勤保健師数 [ ] 名

◆ 送付先住所

[ 〒 ]

◆ 施設名 [ ]

◆ 部署名 [ ]

◆ 担当者名 [ ]

保健師責任者様

平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）研究  
地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発（H28-健危一般-003）  
研究代表者：聖路加国際大学 麻原きよみ

## 「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発-実態調査-」

### 調査へのご協力をお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本研究班は、厚生労働省科学研究費補助金の助成を受けて、「地域における保健師の保健活動に関する指針（健康局長通知別紙、平成 25 年 4 月）」の効果的な推進のために「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発」に取り組んでおります。

本調査は、ガイドライン作成の第一段階として、全国の自治体に勤務して対人保健サービスに従事している保健師と保健師責任者を対象に調査を実施し、保健師による地区活動の実態、および地区活動の関連要因を明らかにすることを目的としています。本調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

#### 《ご回答いただきたい方》

保健師の責任者 または、管理職保健師（係長級以上） 1 名

→『管理者用調査』（組織調査票と保健活動調査票の 2 部構成）にご回答ください。

①組織調査票：全員、必ずお答えください。

②保健活動調査票：①の回答者うち、地区活動を行っている方のみご回答ください。

対人保健サービスに従事している常勤保健師 全数

→お手数ですが、貴自治体で該当する保健師の方にお渡しください。

#### <皆様をお願いしたいこと>

- ・調査にご協力いただける場合は、同封の調査票にご記入いただき、記入漏れがないか確認した上で、郵送にてご返送ください。
  - ・この研究の成果を広く活用していただくため、学会や学術雑誌などで発表させていただきます。
  - ・調査協力に際して以下のことをお約束いたします。
1. 調査協力は皆様の自由な意思によって決めていただくものです。回答された調査票の返送をもって、調査へのご協力の承諾とさせていただきます。ご回答いただいた内容は匿名化され、個人が識別できない状態で保管されます。そのため、調査票のご提出後は、情報の削除等を行うことはできません。
  2. 調査協力を辞退された場合でも、皆様には一切不利益のないことを保証いたします。
  3. 調査協力で得られた内容は、研究目的以外では一切使用いたしません。
  4. 調査では、以下の内容についてご回答をお願いします。
    - ・自治体の人口、保健師の活動体制、地区活動を推進する取り組みなど（管理者用調査）
    - ・ご回答者の年代、性別、ご所属種別、資格、職位、経験年数、保健師活動や住民に対する保健師の意識、住民の変化（住民同士のつながり、住民の活動）、職業的アイデンティティ、道徳的能力（保健師用調査）
  5. 調査でご回答いただいた情報は、個人が特定されないデータとして質的・量的に分析します。
  6. 調査で得られたデータは本調査の研究者のみが利用し、その他の者・機関に提供することはございません。
  7. 施設や部署等の情報は、次回の調査票の発送のためだけに使わせていただきますので、調査内容の分析、その他個人が特定されるような情報として取り扱うことは決してございません。
  8. 研究成果の公表に際しても、匿名性を確保いたします。
  9. 研究計画書および研究方法についてご不明な点やご質問などがございましたら、以下の調査責任者まで電話またはメールでご連絡ください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で情報を開示いたします。

なお、「管理者用調査」と「保健師用調査」を結び付けて分析するため、調査票には施設の番号が記載されています。データの入力には研究者は一切関わらず、委託会社が行います。そのため、研究者が施設名等を特定することはありません。

本調査は聖路加国際大学研究倫理審査委員会での承認を受けて実施しております。(承認番号 17-A094)

◇ 研究組織

〈研究代表者〉 麻原きよみ (聖路加国際大学大学院看護学研究科・教授)
〈分担研究者〉 佐伯和子 (北海道大学大学院保健科学研究院・教授)
大森純子 (東北大学大学院医学系研究科保健学専攻・教授)
永田智子 (慶応義塾大学看護医療学部・教授)
鵜飼修 (滋賀県立大学・准教授)

◇ 調査票返送のお願い

返送期限：平成 30 年 1 月〇日 (〇) までに、同封の返信用封筒にて投函してください。

クリアファイルは謝礼ですので、ご自由にお使いください。  
調査に関するお問い合わせは下記の連絡先までお願いいたします。

**【調査責任者・お問い合わせ先】**  
聖路加国際大学大学院看護学研究科 公衆衛生看護学 麻原きよみ  
〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1  
Tel/Fax : 03-5550-2271 (直通)  
e-mail: asahara@slcn.ac.jp

保健師様

平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）研究  
地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発（H28-健危一般-003）  
研究代表者：聖路加国際大学 麻原きよみ

## 「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発-実態調査-」

### 調査へのご協力をお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本研究班は、厚生労働省科学研究費補助金の助成を受けて、「地域における保健師の保健活動に関する指針（健康局長通知別紙、平成 25 年 4 月）」の効果的な推進のために「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発」に取り組んでおります。

本調査は、ガイドライン作成の第一段階として、全国の自治体に勤務して対人保健サービスに従事している保健師と保健師責任者を対象に調査を実施し、保健師による地区活動の実態、および地区活動の関連要因を明らかにすることを目的としています。本調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 《ご回答いただきたい方》

**対人保健サービスに従事している常勤保健師→『保健師用調査』にご回答ください。**

#### <皆様をお願いしたいこと>

- ・調査にご協力いただける場合は、同封の調査票にご記入いただき、記入漏れがないか確認した上で、ファックスまたは郵送にてご返送ください。
- ・この研究の成果を広く活用していただくため、学会や学術雑誌などで発表させていただきます。
- ・調査協力に際して以下のことをお約束いたします。
  1. 調査協力は皆様の自由な意思によって決めていただくものです。回答された調査票の返送をもって、調査へのご協力の承諾とさせていただきます。ご回答いただいた内容は匿名化され、個人が識別できない状態で保管されます。そのため、調査票のご提出後は、情報の削除等を行うことはできません。
  2. 調査協力を辞退された場合でも、皆様には一切不利益のないことを保証いたします。
  3. 調査協力で得られた内容は研究目的以外では一切使用いたしません。
  4. 調査では、以下の内容についてご回答をお願いします。
    - ・ご回答者の年代、性別、ご所属種別、資格、職位、経験年数、保健師活動や住民に対する保健師の意識、住民の変化（住民同士のつながり、住民の活動）、職業的アイデンティティ、道徳的能力(保健師用調査)
  5. 調査でご回答いただいた情報は、個人が特定されないデータとして質的・量的に分析します。
  6. 調査で得られたデータは本調査の研究者のみが利用し、その他の者・機関に提供することはございません。
  7. 調査内容の分析、その他個人が特定されるような情報として取り扱うことは決してございません。
  8. 研究成果の公表に際しても、匿名性を確保いたします。
  9. 研究計画書および研究方法についてご不明な点やご質問などがございましたら、以下の調査責任者まで電話またはメールでご連絡ください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で情報を開示いたします。

なお、「管理者用調査」と「保健師用調査」を結び付けて分析するため、調査票には施設の番号が記載されています。データの入力には研究者は一切関わらず、委託会社が行います。そのため、研究者が施設名等を特定することはありません。

本調査は聖路加国際大学研究倫理審査委員会での承認を受けて実施しております。(承認番号 17-A094)。

◇ 研究組織

〈研究代表者〉 麻原きよみ (聖路加国際大学大学院看護学研究科・教授)
〈分担研究者〉 佐伯和子 (北海道大学大学院保健科学研究院・教授)
大森純子 (東北大学大学院医学系研究科保健学専攻・教授)
永田智子 (慶応義塾大学看護医療学部・教授)
鶴飼修 (滋賀県立大学・准教授)

◇ 調査票返送のお願い

返送期限：平成 30 年〇月〇日 (〇) までに、以下にファックスいただくか、同封の返信用封筒にて投函してください。

**Fax : 03-5823-4323**

クリアファイルは謝礼ですので、ご自由にお使いください。  
調査に関するお問い合わせは下記の連絡先までお願いいたします。

**【調査責任者・お問い合わせ先】**

聖路加国際大学大学院看護学研究科 公衆衛生看護学 麻原きよみ  
〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1  
Tel/Fax : 03-5550-2271 (直通)  
e-mail: asahara@slcn.ac.jp

# 平成29年度厚生労働科学研究費補助金研究 地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発 - 地区活動実態調査 -

保健師責任者・管理者用

本調査で用いる用語につきましては、以下をご参考ください。

用語	意味
統括的な役割を担う保健師	<p>「地域における保健師の保健活動について」(平成25年4月19日付け健発0419第1号)において定義される「保健師の保健活動を組織横断的に総合調整及び推進し、技術及び専門的側面から指導する役割を担う者」を示す。</p> <p>【※デルファイ法による定義】 地域特性に合わせた様々な活動を効果的に推進するために、保健師による保健活動の組織横断的な調整や、計画的な保健師の人材確保・人材育成における指導・調整を担う保健師。 注)保健師の保健活動の総合的調整等を担う部署に配置することが望ましいとされる。</p>
地区診断	<p>【※デルファイ法による定義】 保健活動、地区踏査、調査研究、統計情報等に基づいて、住民の健康状態や生活実態を把握して、地域において取り組むべき課題、その構成要素と要因を明らかにすること。 注)課題への対応を検討することを含む場合がある。</p>
地区担当制	<p>【※デルファイ法による定義】 一定の地区に責任をもち、その地区で生活するすべての人々の健康や生活の質の向上のために活動を行う体制。</p>
業務担当制	<p>【※デルファイ法による定義】 母子・成人・高齢者・精神・感染症等の分野ごとに責任をもち、その分野の対象とする人々の健康や生活の質の向上のために活動を行う体制。</p>
地区活動	<p>【※デルファイ法による定義】 訪問指導、健康相談、健康教育及び地区組織の育成等を通じて地区を把握し、住民が主体的かつ継続的に健康的な生活を送れるよう地域住民や関係機関等と協働して行う保健活動。</p>

※ 平成29年度厚生労働科学研究費補助金研究において本研究班が実施したデルファイ法調査による定義。  
デルファイ法調査とは、専門家を対象とし、定義等が一定の合意に達するまで繰り返し行われる調査法のこと。

## I. 組織調査票

### 問1. 貴自治体についてお答えください。【各数値回答】

※平成29年4月1日現在

① 総人口	② 年少人口	③ 生産年齢人口	④ 高齢人口	⑤ 年間出生数
人	人	人	人	人

## 問2.貴自治体の組織体制等について、所属別にお答えください。【各数値回答】

以下の回答方法をご参照したうえで、右ページの【回答欄】にご記入ください。

### 【問2.回答方法】

質問項目	回答方法
<b>A</b> 所属している常勤保健師の人数	平成29年5月1日現在の人数をご記入ください。【数値回答】
<b>B</b> 組織体制	以下の選択肢1～4から、該当する番号をお選びください。【ひとつだけ○】 1. 地区担当制のみ 2. 地区担当制と業務担当制の併用 3. 業務担当制のみ(業務内での地区割りあり) 4. 業務担当制のみ(業務内での地区割りなし)
<b>C</b> 地域分割方法	<p>B.組織体制で「1. 地区担当制のみ」「2. 地区担当制と業務担当制の併用」と答えた方にお聞きます。</p> <p>以下の選択肢1～4から、該当する番号をお選びください。【ひとつだけ○】</p> <p>1. 人口割 → 回答欄の( )の中に、<u>1地区あたりのおおよその人口</u>をご記入ください。</p> <p>2. 行政区割</p> <p>3. 人口を考慮した行政区割 → 回答欄の( )の中に、<u>具体的な方法</u>をご記入ください。 ※下記の記入例をご参考ください。</p> <p>4. その他</p> <p>※具体的な方法の記入例                      2. 行政区割りの場合：( <u>小学校毎</u> )                      3. 人口を考慮した行政区画の場合：( <u>小学校区毎, 1地区あたり人口〇〇人</u> )</p>
<b>D</b> 平成25年度以降の組織体制の変更の有無	以下の選択肢1～2から、該当する番号をお選びください。【ひとつだけ○】 1. あり      2. なし
<b>E</b> 現在の体制のメリット	以下の選択肢1～9から、該当する番号をお選びください。【複数回答可】 1. 住民からの相談を受けやすい 2. 地区のキーパーソン(自治会長等)からの相談を受けやすい 3. 保健師が地区のキーパーソンや活用できる資源等を把握しやすい 4. 保健師の地区へ出る機会(訪問指導、健康相談、健康教育及び地区組織等の育成等)を持ちやすい 5. 保健師の業務負担が少ない(残業時間の減少等) 6. 保健師間の情報共有の機会を持ちやすい 7. 他部署や他職種から保健師への相談がしやすい 8. 地区の関係機関(住民組織、企業、学校等)や関係者との連携がとりやすい 9. その他 → 回答欄の( )の中に、 <u>具体的な内容</u> をご記入ください。

「所属」は保健師活動領域調査の所属区分に準じています。

### 【問2.記入例】

	A	B	C	D	E
所属	常勤保健師	組織体制	地区分割方法	体制変更	現在の体制のメリット
本庁(保健部門)	10 人	1 ② 3 4	1 2 ③ 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( <u>小学校毎, 1地区あたり人口約2万人</u> )	1 ②	① ② ③ 4 5 6 ⑦ 8 9 9. 具体的な内容 ( )

【問2.回答欄】

A

B

C

D

E

	所属	常勤 保健師	組織体制	地区分割方法	体制 変更	現在の体制のメリット
1	本庁(保健部門)	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )
2	本庁(保健福祉部門)	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )
3	本庁(福祉部門)	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )
4	本庁(医療部門)	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )
5	本庁(介護部門)	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )
6	本庁 (国民健康保健部門)	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )
7	本庁 (職員の健康管理部門)	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )
8	本庁 (教育委員会等学校教育 部門)	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )
9	本庁(その他)	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )
10	保健所(企画調整部門)	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )
11	保健所(保健福祉部門)	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )
12	保健所(介護保健部門)	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )
13	市町村保健センター (保健部門)	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )
14	市町村保健センター (保健福祉部門)	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )
15	市町村保健センター (介護保健部門)	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )
16	市町村保健センター (その他)	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )
17	その他	人	1 2 3 4	1 2 3 4 1. 人口または、2. 3. 4. 具体的な方法 ( )	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9. 具体的な内容 ( )

### 問3.貴自治体では、地区活動で得られた情報について共有していますか。【ひとつだけ〇】

1. 各担当係内で共有している
2. 各担当係が所属している課・部署内で共有している
3. 保健師が所属する全ての課・部署で共有している
4. 保健師が所属していない課・部署も含めた保健福祉部門全体で共有している
5. 上記以上の範囲で共有している

### 問4.貴自治体では、保健師が地区活動を積極的に行っていると思いますか。【ひとつだけ〇】

1. 大変そう思う
2. ややそう思う
3. どちらでもない
4. ややそう思わない
5. 全くそう思わない

問4で「1.大変そう思う」、「2.ややそう思う」と回答した方にお聞きます。

### 問5.地区活動を積極的に行うことができている要因は何ですか。【複数回答可】

1. 地区診断を行う等して、地区の状況を的確に把握できているため
2. 保健師間の情報共有が密に行われているため
3. 地区の関係者・関係機関と、定期的に情報共有の機会を持つ等して、連携が図れているため
4. 地区活動に専念できる部署(課・係等)があるため

5. その他

具体的に

### 問6.貴自治体では、保健師活動の一環として、定期的に地区診断を行っていますか。【ひとつだけ〇】

1. 組織として行っている
2. 組織として行っていないが、各保健師が必要に応じて行っている
3. 行っていない

問6で「1.組織として行っている」と回答した方にお聞きます。

### 問7.地区診断の実施及び結果の統合・共有をどのように行っていますか。【ひとつだけ〇】

1. 各地区担当保健師(係等)が実施し、担当を超えて統合し、組織の地区診断として共有している
2. 各業務担当保健師(係等)が実施し、担当を超えて統合し、組織の地区診断として共有している
3. 各地区担当保健師(係等)と各業務担当保健師(係等)が、それぞれ実施し、担当を超えて統合し、組織の地区診断として共有している

4. 地区診断を行っているが、担当保健師(係等)を超えて共有していない

5. その他

具体的に

問7で「組織の地区診断として共有している」と回答した方にお聞きます。

### 問8.地区診断の実施及び結果を、統合・共有するのは誰ですか。【複数回答可】

1. 各地区担当保健師(係等)
2. 各業務担当保健師(係等)
3. 各地区担当/各業務担当保健師をとりまとめている保健師
4. 保健師全般に関わることをとりまとめている部署・系の保健師

5. 統括的な役割を担う保健師

所属部署

6. 上記以外の保健師

具体的に

7. 保健師以外

具体的に

8. その他

具体的に

問7で「組織の地区診断として共有している」と回答した方にお聞きます。

**問9.共有する際に、地区診断の結果から事業計画への提案を行っていますか。**

1. 行っている                      2. 行っていない

**問10.貴自治体では、地区診断の学習会や研修会を行っていますか。**

1. 行っている                      2. 行っていない

**問11.貴自治体が属する都道府県や都道府県型保健所が実施する地区診断の学習会や研修会に、貴自治体の保健師は参加していますか。【ひとつだけ○】**

1. 参加している                      2. 学習会や研修会はあるが、参加していない  
 3. 学習会や研修会の有無を把握していない      4. 各保健師の参加状況を把握していない  
 5. 学習会や研修会が開催されていない

**問12.貴自治体では、自治体内で、保健師の地区活動のあり方について検討する機会がありますか。**

1. 検討する機会がある              2. 検討する機会がない

**問13.貴自治体では、保健師の地区活動のあり方について、属する都道府県(都道府県型保健所を含む)や周辺自治体と、検討する機会がありますか。**

1. 検討する機会がある              2. 検討する機会がない

**問14.貴自治体では、毎年常勤保健師の活動項目別活動状況※を把握していますか。【ひとつだけ○】**

※活動項目別活動状況は、保健師活動調査の調査項目に準じています。

1. 保健師活動調査と同様の調査項目で把握している  
 2. 保健師活動調査と異なる調査項目で把握している  
 3. 把握していない

問14で「1.保健師活動調査と同様の調査項目で把握している」と回答した方にお聞きます。

**問15.平成24年度及び平成28年度の、常勤保健師1人あたりの平均活動時間数※をお答えください。【各数値回答】**

※常勤保健師の活動時間数の合計を、常勤保健師数で除したもの

		①平成24年度	②平成28年度	【記入例】
1	総計	時間	時間	168.8 時間
2	計	時間	時間	79.3 時間
3	保健福祉事業	時間	時間	13.6 時間
4	家庭訪問(内訳)	時間	時間	10.3 時間
5	保健指導(内訳)	時間	時間	10.6 時間
6	健康相談(内訳)	時間	時間	3.6 時間
7	地区組織活動(内訳)	時間	時間	12.3 時間
8	計	時間	時間	11.0 時間
9	地区管理	時間	時間	17.8 時間
	地区管理(内訳)	時間	時間	
	計	時間	時間	
	コーディネート	時間	時間	

ご回答ありがとうございました。対人保健サービスに従事している保健師責任者・管理者の方は、次ページ以降の「Ⅱ.保健活動調査票」にもご回答ください。

問16～問36は、対人保健サービスに従事している保健師責任者・管理者の方にお伺いします。  
当てはまらない方は、最終ページの『アンケートの返信方法』をご参考に、返信をお願いいたします。

## II. 保健活動調査票

### II-1. あなたご自身についてお伺いします。

#### 問16. あなたの年齢

1. 20代      2. 30代      3. 40代      4. 50代      5. 60代      6. 70代以上

#### 問17. あなたの性別

1. 女性      2. 男性

#### 問18. あなたの常勤保健師としての通算経験年数(休職期間は除く)【数値回答】

年

※月数は6か月以上は繰り上げ、6か月未満は切り捨ててください。  
例)4年6か月→「5年」、3か月→「0年」

#### 問19. あなたの職位【ひとつだけ○】

1. 部局長級  
2. 次長級  
3. 課長級  
4. 課長補佐級  
5. 係長級  
6. 係員  
7. その他

具体的に

#### 問20. あなたの卒業した保健師基礎教育課程【複数回答可】

1. 保健師養成所  
2. 短期大学保健師専攻科  
3. 大学保健師課程  
4. 大学院保健師課程  
5. その他

具体的に

#### 問21. あなたの最終学歴【ひとつだけ○】

1. 専門学校  
2. 短期大学  
3. 大学（4年制）  
4. 修士課程  
5. 博士課程  
6. その他

具体的に

## II-2.所属・組織についてお伺いします。

### 問22.現在所属している自治体【ひとつだけ○】

1. 市町村      2. 指定都市      3. 中核市      4. 政令市      5. 特別区  
6. その他

具体的に

### 問23.現在所属している機関【ひとつだけ○】

1. 本庁  
2. 保健所  
3. 保健センターおよび類似施設  
4. その他

具体的に

### 問24.現在所属している部門【いくつでも○】

1. 企画調整部門  
2. 保健部門  
3. 保健福祉部門  
4. 福祉部門  
5. 医療部門  
6. 介護保険部門  
7. 国民健康保険部門  
8. 職員の健康管理部門  
9. 教育委員会等学校教育部門  
10. その他

具体的に

### 問25.あなたが保健活動を行う体制を、下記の「本調査での用語の定義」に従ってお選びください。 【ひとつだけ○】

1. 地区担当制のみ  
2. 地区担当制と業務担当制の併用  
3. 業務担当制のみ（業務内での地区割りあり）  
4. 業務担当制のみ（業務内での地区割りなし）  
5. その他

具体的に

#### ◆本調査での用語の定義

地区担当制	一定の地区に責任をもち、その地区で生活するすべての人々の健康や生活の質の向上のために活動を行う体制。
業務担当制	母子・成人・高齢者・精神・感染症等の分野ごとに責任をもち、その分野の対象とする人々の健康や生活の質の向上のために活動を行う体制。
地区担当制と業務担当制の併用	担当地区に関する保健活動と、業務の運営・管理を並行して行うこと。

## II-3.保健活動等について

### 問26.あなたの所属における保健活動の体制について【各ひとつだけ○】

	あてはまる	あてはまるかどうかというところ	あてはまらないというところ	あてはまらない
① 所属する自治体全体として、保健活動と連携する地域／地区づくりの方針・体制がある	4	3	2	1
② 上司や統括的立場にある保健師に、保健活動についての明確な考えがある	4	3	2	1
③ 保健師が、地域／地区を集団と捉えて保健活動を行うための研修を受ける機会がある	4	3	2	1
④ 保健師が、地域／地区づくり活動に専念することができる体制がある	4	3	2	1
⑤ 保健師の活動の拠点は、住民が来所する場所にある	4	3	2	1
⑥ 保健師が、地域／地区の課題を他の保健師と共有する機会がある	4	3	2	1
⑦ 保健師が、地域／地区の課題を他職種や関係機関と共有する機会がある	4	3	2	1
⑧ 地区活動担当者の情報共有・相談の場として定期的なミーティングがある	4	3	2	1
⑨ 保健師の定例会や研修会が行われている(部内会議、保健センター連絡会、エリア連絡会、事業ごとの連絡会議、支所構成職員との会議など)	4	3	2	1
⑩ 保健師が、地域／地区活動について、上司や統括的／管理的立場の保健師と話し合える環境がある	4	3	2	1
⑪ 保健師の活動が、所属機関の他職種から理解されている	4	3	2	1
⑫ 日常的に保健師相互の情報共有・相談支援の機会がある	4	3	2	1
⑬ 1つの地域／地区を主担当・副担当のように複数人で担当する体制がある	4	3	2	1
⑭ 保健師は、自分の地域／地区の活動計画を立案している	4	3	2	1
⑮ 保健師の地域／地区活動について、地域住民に対して広報、知らせる機会がある	4	3	2	1

**問27.あなたは、現在、地区担当制で地区を担当していますか。(業務担当制との併用も含む)**

1. 担当している

2. 担当していない

問27で「1.担当している」と回答した方にお聞きします。

**問28.担当されている地区の数と、人口についてお教えてください。〔各数値回答〕**

①	受け持ち地区の数	地区
②	受け持ち地区全体の合計人口	人
③	上記のうちで最も大きい地区の人口	人

問27で「1.担当している」と回答した方にお聞きします。

**問29.地区担当制において行っているご自身の活動〔複数回答可〕**

1. ハイリスク対応（個別支援）
2. 地域のネットワークやケアシステムの構築（地域づくり）
3. その他

具体的に

**問30.あなたは、現在、業務担当制で保健活動を行っていますか。(地区担当制との併用も含む)**

1. 行っている

2. 行っていない

問30で「1.行っている」と回答した方にお聞きします。

**問31.業務担当制において担当している業務(保健師活動領域調査における分類)〔複数回答可〕**

1. 精神保健業務
2. 難病業務
3. 感染症業務
4. 母子保健業務
5. 成人保健業務
6. 特定健診・特定保健指導
7. 介護保険業務
8. その他

具体的に

問30で「1.行っている」と回答した方にお聞きします。

**問32.業務担当制において行っているご自身の活動〔複数回答可〕**

1. 業務管理のみ
2. ハイリスク対応（個別支援）
3. 地域のネットワークやケアシステムの構築（地域づくり）
4. その他

具体的に

問33.あなたご自身の保健活動の方法について、お答えください。【各ひとつだけ〇】

	あてはまる	あてはまら どちらかという と	あてはまら どちらかという と	あてはまら ない
① 住民とつながるきっかけを意識してつくっている	4	3	2	1
② 地域／地区に出向くことを意識して行っている	4	3	2	1
③ 住民と話し合いながら保健活動を進めている	4	3	2	1
④ 住民の声を聞く努力をしている	4	3	2	1
⑤ 住民から地域の情報を得ている	4	3	2	1
⑥ 住民と一緒に地域／地区の課題を考えている	4	3	2	1
⑦ 地域／地区の住民を集団として捉えている	4	3	2	1
⑧ 地域／地区の特性（暮らし、文化、風習）を考えて活動している	4	3	2	1
⑨ 地域／地区の特性（自然環境、地域資源）を考えて活動している	4	3	2	1
⑩ 個人の課題から地域／地区の課題を見つけている	4	3	2	1
⑪ 個人と地域／地区の両面から見ている	4	3	2	1
⑫ 個人への支援を地域／地区活動に発展させている	4	3	2	1
⑬ 住民や関係者と同じ目的を持っている	4	3	2	1
⑭ 住民と一緒に活動している	4	3	2	1
⑮ 地域／地区の将来の姿を考えて活動している	4	3	2	1
⑯ 地区診断に基づいて、重点課題や活動方法の検討を行っている	4	3	2	1
⑰ 保健師の存在や活動を地域住民に対して知らせる努力をしている	4	3	2	1
⑱ 保健師の地域／地区活動の成果を地域住民に知らせる努力をしている	4	3	2	1

問34.あなた自身の現在の考えについて、お答えください。【各ひとつだけ○】

	あてはまる	どちらかという あてはまる	どちらかという あてはまらない	あてはまらない
① 私は保健師の活動が楽しい	4	3	2	1
② 私は保健師の仕事から達成感を得られる	4	3	2	1
③ 私は保健師の仕事に満足している	4	3	2	1
④ 私は住民と一緒に活動すれば、難しいことでも取り組む自信がある	4	3	2	1
⑤ 私は地域／地区への愛着がある	4	3	2	1
⑥ 私は地域／地区を知ることができる喜びを感じる	4	3	2	1
⑦ 私は地域／地区の住民に対して何ができるか、常に考えている	4	3	2	1
⑧ 私は住民とつながることができてうれしい	4	3	2	1
⑨ 私は住民の力を信じることができる	4	3	2	1
⑩ 私は住民から頼りにされる	4	3	2	1
⑪ 私は住民と相談し合える関係である	4	3	2	1
⑫ 私はいつでも住民とともにある存在である	4	3	2	1
⑬ 地域／地区の住民の間につながりができていると思う	4	3	2	1
⑭ 住民の活動が活発であると思う	4	3	2	1

問35.あなたの現在の保健活動を振り返って、もっとも当てはまるものをお答えください。【各ひとつだけ○】

	非常に意識する	やや意識する	どちらともいえない	あまり意識しない	まったく意識しない
① 住民がどうしたいのかを考えて判断する	5	4	3	2	1
② 住民にとって何がベストなのかを考えて判断する	5	4	3	2	1
③ 住民が大切にしていることを考えて判断する	5	4	3	2	1
④ 住民の思いや価値観を優先して判断する	5	4	3	2	1
⑤ 住民にとって自分の支援が正しいか判断する	5	4	3	2	1

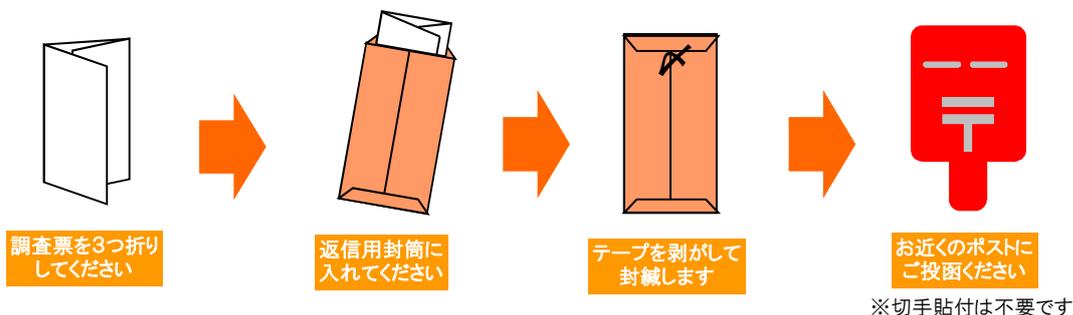
問36.あなたの考えにもっとも当てはまるものをお答えください。〔各ひとつだけ○〕

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
① 私は住民を理解することができると感じるときがある	5	4	3	2	1
② 私は保健師のあり方について自分なりの考えを持っている	5	4	3	2	1
③ 私は保健師として培ってきた能力が今の仕事に生きている	5	4	3	2	1
④ 私は専門職業意識をもっている	5	4	3	2	1
⑤ 保健師には独自の能力がある	5	4	3	2	1
⑥ 私は地域の健康課題を解決することができると感じるときがある	5	4	3	2	1
⑦ 私は保健師活動を良くするための将来像をもっている	5	4	3	2	1
⑧ 私は必要とされるとき、保健師の知識を生かせる	5	4	3	2	1
⑨ 私は住民の役に立つことができる	5	4	3	2	1
⑩ 私は必要とされる時、保健師の技術が発揮できる	5	4	3	2	1
⑪ 皆が関心を持つ健康に携わる保健師の仕事は自分にとって誇らしいと思う	5	4	3	2	1
⑫ 私は住民や関係機関の橋渡しとなっている	5	4	3	2	1
⑬ 私は職場から良い評価をされていると感じる	5	4	3	2	1
⑭ 私は常に保健師としての自覚を持っている	5	4	3	2	1
⑮ 私はもっと保健師として役立つ勉強がしたい	5	4	3	2	1
⑯ 私はもっと保健師としての技術を磨きたい	5	4	3	2	1
⑰ 私は保健師としての理想をもっている	5	4	3	2	1
⑱ 私は保健師として仕事することに自信がある	5	4	3	2	1
⑲ 私は保健師の仕事に誇りを持っている	5	4	3	2	1
⑳ 私は住民に必要とされていると感じる	5	4	3	2	1

アンケートは以上で終了です。ご協力いただき誠にありがとうございました。

### アンケートのご返信方法について

同封した返信用封筒に調査票を3折りにして封入し、ポストに投函してください。(切手貼付不要)



平成29年度厚生労働科学研究費補助金研究  
 地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発  
 - 地区活動実態調査 -

保健師用

本調査で用いる用語につきましては、以下をご参考ください。

用語	意味
統括的な役割を担う保健師	<p>「地域における保健師の保健活動について」(平成25年4月19日付け健発0419第1号)において定義される「保健師の保健活動を組織横断的に総合調整及び推進し、技術及び専門的側面から指導する役割を担う者」を示す。</p> <p>【※デルファイ法による定義】          地域特性に合わせた様々な活動を効果的に推進するために、保健師による保健活動の組織横断的な調整や、計画的な保健師の人材確保・人材育成における指導・調整を担う保健師。          注)保健師の保健活動の総合的調整等を担う部署に配置することが望ましいとされる。</p>
地区診断	<p>【※デルファイ法による定義】          保健活動、地区踏査、調査研究、統計情報等に基づいて、住民の健康状態や生活実態を把握して、地域において取り組むべき課題、その構成要素と要因を明らかにすること。          注)課題への対応を検討することを含む場合がある。</p>
地区担当制	<p>【※デルファイ法による定義】          一定の地区に責任をもち、その地区で生活するすべての人々の健康や生活の質の向上のために活動を行う体制。</p>
業務担当制	<p>【※デルファイ法による定義】          母子・成人・高齢者・精神・感染症等の分野ごとに責任をもち、その分野の対象とする人々の健康や生活の質の向上のために活動を行う体制。</p>
地区活動	<p>【※デルファイ法による定義】          訪問指導、健康相談、健康教育及び地区組織の育成等を通じて地区を把握し、住民が主体的かつ継続的に健康的な生活を送れるよう地域住民や関係機関等と協働して行う保健活動。</p>

※ 平成29年度厚生労働科学研究費補助金研究において本研究班が実施したデルファイ法調査による定義。  
 デルファイ法調査とは、専門家を対象とし、定義等が一定の合意に達するまで繰り返し行われる調査法のこと。

# I. 保健活動調査票

## I-1. あなたご自身についてお伺いします。

### Q1. あなたの年齢

1. 20代      2. 30代      3. 40代      4. 50代      5. 60代      6. 70代以上

### Q2. あなたの性別

1. 女性      2. 男性

### Q3. あなたの常勤保健師としての通算経験年数(休職期間は除く)【数値回答】

年

※月数は6か月以上は繰り上げ、6か月未満は切り捨ててください。  
例)4年6か月→「5年」、3か月→「0年」

### Q4. あなたの職位【ひとつだけ○】

1. 部局長級  
2. 次長級  
3. 課長級  
4. 課長補佐級  
5. 係長級  
6. 係員

7. その他

具体的に

### Q5. あなたの卒業した保健師基礎教育課程【複数回答可】

1. 保健師養成所  
2. 短期大学保健師専攻科  
3. 大学保健師課程  
4. 大学院保健師課程

5. その他

具体的に

### Q6. あなたの最終学歴【ひとつだけ○】

1. 専門学校  
2. 短期大学  
3. 大学（4年制）  
4. 修士課程  
5. 博士課程

6. その他

具体的に

## I-2.所属・組織についてお伺いします。

### Q7.現在所属している自治体【ひとつだけ○】

1. 市町村      2. 指定都市      3. 中核市      4. 政令市      5. 特別区  
6. その他

具体的に

### Q8.現在所属している機関【ひとつだけ○】

1. 本庁  
2. 保健所  
3. 保健センターおよび類似施設  
4. その他

具体的に

### Q9.現在所属している部門【いくつでも○】

1. 企画調整部門  
2. 保健部門  
3. 保健福祉部門  
4. 福祉部門  
5. 医療部門  
6. 介護保険部門  
7. 国民健康保険部門  
8. 職員の健康管理部門  
9. 教育委員会等学校教育部門  
10. その他

具体的に

### Q10.あなたが保健活動を行う体制を、下記の「本調査での用語の定義」に従ってお選びください。 【ひとつだけ○】

1. 地区担当制のみ  
2. 地区担当制と業務担当制の併用  
3. 業務担当制のみ（業務内での地区割りあり）  
4. 業務担当制のみ（業務内での地区割りなし）  
5. その他

具体的に

#### ◆本調査での用語の定義

地区担当制	一定の地区に責任をもち、その地区で生活するすべての人々の健康や生活の質の向上のために活動を行う体制。
業務担当制	母子・成人・高齢者・精神・感染症等の分野ごとに責任をもち、その分野の対象とする人々の健康や生活の質の向上のために活動を行う体制。
地区担当制と業務担当制の併用	担当地区に関する保健活動と、業務の運営・管理を並行して行うこと。

### I-3.保健活動等について

#### Q11.あなたの所属における保健活動の体制について【各ひとつだけ〇】

	あてはまる	あてはまら どちらかと いうと	あてはまら どちらかと いうと	あてはまら ない
① 所属する自治体全体として、保健活動と連携する地域／地区づくりの方針・体制がある	4	3	2	1
② 上司や統括的立場にある保健師に、保健活動についての明確な考えがある	4	3	2	1
③ 保健師が、地域／地区を集団と捉えて保健活動を行うための研修を受ける機会がある	4	3	2	1
④ 保健師が、地域／地区づくり活動に専念することができる体制がある	4	3	2	1
⑤ 保健師の活動の拠点は、住民が来所する場所にある	4	3	2	1
⑥ 保健師が、地域／地区の課題を他の保健師と共有する機会がある	4	3	2	1
⑦ 保健師が、地域／地区の課題を他職種や関係機関と共有する機会がある	4	3	2	1
⑧ 地区活動担当者の情報共有・相談の場として定期的なミーティングがある	4	3	2	1
⑨ 保健師の定例会や研修会が行われている(部内会議、保健センター連絡会、エリア連絡会、事業ごとの連絡会議、支所構成職員との会議など)	4	3	2	1
⑩ 保健師が、地域／地区活動について、上司や統括的／管理的立場の保健師と話し合える環境がある	4	3	2	1
⑪ 保健師の活動が、所属機関の他職種から理解されている	4	3	2	1
⑫ 日常的に保健師相互の情報共有・相談支援の機会がある	4	3	2	1
⑬ 1つの地域／地区を主担当・副担当のように複数人で担当する体制がある	4	3	2	1
⑭ 保健師は、自分の地域／地区の活動計画を立案している	4	3	2	1
⑮ 保健師の地域／地区活動について、地域住民に対して広報、知らせる機会がある	4	3	2	1

**Q12.あなたは、現在、地区担当制で地区を担当していますか。(業務担当制との併用も含む)**

1. 担当している

2. 担当していない

Q12で「1.担当している」と回答した方にお聞きします。

**Q13.担当されている地区の数と、人口について教えてください。〔各数値回答〕**

①	受け持ち地区の数	地区
②	受け持ち地区全体の合計人口	人
③	上記のうちで最も大きい地区の人口	人

Q12で「1.担当している」と回答した方にお聞きします。

**Q14.地区担当制において行っているご自身の活動〔複数回答可〕**

1. ハイリスク対応（個別支援）
2. 地域のネットワークやケアシステムの構築（地域づくり）

3. その他

具体的に

**Q15.あなたは、現在、業務担当制で保健活動を行っていますか。(地区担当制との併用も含む)**

1. 行っている

2. 行っていない

Q15で「1.行っている」と回答した方にお聞きします。

**Q16.業務担当制において担当している業務(保健師活動領域調査における分類)〔複数回答可〕**

1. 精神保健業務
2. 難病業務
3. 感染症業務
4. 母子保健業務
5. 成人保健業務
6. 特定健診・特定保健指導
7. 介護保険業務

8. その他

具体的に

Q15で「1.行っている」と回答した方にお聞きします。

**Q17.業務担当制において行っているご自身の活動〔複数回答可〕**

1. 業務管理のみ
2. ハイリスク対応（個別支援）
3. 地域のネットワークやケアシステムの構築（地域づくり）

4. その他

具体的に

Q18.あなたご自身の保健活動の方法について、お答えください。【各ひとつだけ〇】

	あてはまる	あてはまらな どちらかという と	あてはまらな どちらかという と	あてはまらな い
① 住民とつながるきっかけを意識してつくっている	4	3	2	1
② 地域／地区に出向くことを意識して行っている	4	3	2	1
③ 住民と話し合いながら保健活動を進めている	4	3	2	1
④ 住民の声を聞く努力をしている	4	3	2	1
⑤ 住民から地域の情報を得ている	4	3	2	1
⑥ 住民と一緒に地域／地区の課題を考えている	4	3	2	1
⑦ 地域／地区の住民を集団として捉えている	4	3	2	1
⑧ 地域／地区の特性（暮らし、文化、風習）を考えて活動している	4	3	2	1
⑨ 地域／地区の特性（自然環境、地域資源）を考えて活動している	4	3	2	1
⑩ 個人の課題から地域／地区の課題を見つけている	4	3	2	1
⑪ 個人と地域／地区の両面から見ている	4	3	2	1
⑫ 個人への支援を地域／地区活動に発展させている	4	3	2	1
⑬ 住民や関係者と同じ目的を持っている	4	3	2	1
⑭ 住民と一緒に活動している	4	3	2	1
⑮ 地域／地区の将来の姿を考えて活動している	4	3	2	1
⑯ 地区診断に基づいて、重点課題や活動方法の検討を行っている	4	3	2	1
⑰ 保健師の存在や活動を地域住民に対して知らせる努力をしている	4	3	2	1
⑱ 保健師の地域／地区活動の成果を地域住民に知らせる努力をしている	4	3	2	1

## Q19.あなた自身の現在の考えについて、お答えください。【各ひとつだけ○】

	あてはまる	どちらかという あてはまる	どちらかという あてはまらない	あてはまらない
① 私は保健師の活動が楽しい	4	3	2	1
② 私は保健師の仕事から達成感を得られる	4	3	2	1
③ 私は保健師の仕事に満足している	4	3	2	1
④ 私は住民と一緒に活動すれば、難しいことでも取り組む自信がある	4	3	2	1
⑤ 私は地域／地区への愛着がある	4	3	2	1
⑥ 私は地域／地区を知ることができる喜びを感じる	4	3	2	1
⑦ 私は地域／地区の住民に対して何ができるか、常に考えている	4	3	2	1
⑧ 私は住民とつながることができてうれしい	4	3	2	1
⑨ 私は住民の力を信じることができる	4	3	2	1
⑩ 私は住民から頼りにされる	4	3	2	1
⑪ 私は住民と相談し合える関係である	4	3	2	1
⑫ 私はいつでも住民とともにある存在である	4	3	2	1
⑬ 地域／地区の住民の間につながりができていると思う	4	3	2	1
⑭ 住民の活動が活発であると思う	4	3	2	1

## Q20.あなたの現在の保健活動を振り返って、もっとも当てはまるものをお答えください。【各ひとつだけ○】

	非常に意識する	やや意識する	どちらともいえない	あまり意識しない	まったく意識しない
① 住民がどうしたいのかを考えて判断する	5	4	3	2	1
② 住民にとって何がベストなのかを考えて判断する	5	4	3	2	1
③ 住民が大切にしていることを考えて判断する	5	4	3	2	1
④ 住民の思いや価値観を優先して判断する	5	4	3	2	1
⑤ 住民にとって自分の支援が正しいか判断する	5	4	3	2	1

## Q21.あなたの考えにもっとも当てはまるものをお答えください。〔各ひとつだけ○〕

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
① 私は住民を理解することができると感じるときがある	5	4	3	2	1
② 私は保健師のあり方について自分なりの考えを持っている	5	4	3	2	1
③ 私は保健師として培ってきた能力が今の仕事に生きている	5	4	3	2	1
④ 私は専門職業意識をもっている	5	4	3	2	1
⑤ 保健師には独自の能力がある	5	4	3	2	1
⑥ 私は地域の健康課題を解決することができると感じるときがある	5	4	3	2	1
⑦ 私は保健師活動を良くするための将来像をもっている	5	4	3	2	1
⑧ 私は必要とされるとき、保健師の知識を生かせる	5	4	3	2	1
⑨ 私は住民の役に立つことができる	5	4	3	2	1
⑩ 私は必要とされる時、保健師の技術が発揮できる	5	4	3	2	1
⑪ 皆が関心を持つ健康に携わる保健師の仕事は自分にとって誇らしいと思う	5	4	3	2	1
⑫ 私は住民や関係機関の橋渡しとなっている	5	4	3	2	1
⑬ 私は職場から良い評価をされていると感じる	5	4	3	2	1
⑭ 私は常に保健師としての自覚を持っている	5	4	3	2	1
⑮ 私はもっと保健師として役立つ勉強がしたい	5	4	3	2	1
⑯ 私はもっと保健師としての技術を磨きたい	5	4	3	2	1
⑰ 私は保健師としての理想をもっている	5	4	3	2	1
⑱ 私は保健師として仕事することに自信がある	5	4	3	2	1
⑲ 私は保健師の仕事に誇りを持っている	5	4	3	2	1
⑳ 私は住民に必要とされていると感じる	5	4	3	2	1

アンケートは以上で終了です。ご協力いただき誠にありがとうございました。

## アンケートのご返信方法について

### ①郵送の場合

同封した返信用封筒に調査票を3折して封入し、ポストに投函してください。(切手貼付不要)

### ②FAXの場合

この調査票は、右図のように用紙の真ん中で切り離すことで、FAXフィーダーより連続送信できます。**両面設定で4枚**をご送信ください。(回答内容は、黒の鉛筆やボールペンで濃くはっきりとご記入ください。)



**FAX番号 03-5823-4322**

※裏面・表面の4枚(8ページ)を送信

※**両面設定**にしてください

地域特性に応じた保健活動推進ガイドライン  
の開発—地区活動実態調査—へのお礼

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。先日は、ご多忙のところ、調査にご協力いただき誠にありがとうございました。皆様からの貴重なご回答を生かせるよう、鋭意分析を進めております。

なお、調査票がまだお手元にごございましたら、お手数でもご記入の上、〇月〇日までに、ご返送いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2018年1月〇日

聖路加国際大学大学院看護学研究科  
麻原きよみ

Tel/Fax : 03-5550-2271 (直通)

e-mail: [asahara@slcn.ac.jp](mailto:asahara@slcn.ac.jp)